

シルバーとよなか

ふれあい

2001年1月

寿
雲

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.32

新春を迎えて



理事長
水上 利夫

新年あけましておめでとござい
ます。

皆様には、新しい世紀の幕開けと
なる新春を健やかにお迎えのこと
心からお慶び申し上げます。

昨年は、当センターの事業運営に
ご理解・ご協力を賜り厚くお礼を申
し上げます。

とりわけ、各事業所、市民の皆様



豊中市長
一色 貞輝

明けましておめでとございます。
皆様方には、輝かしい二十一世紀
の新年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

平素は市政の推進に格別のご理解
とご協力を頂き、厚くお礼申し上げ
ます。

を始め行政機関等の幅広いご支援に
より敵しい経済環境が続くなかでは
ありますが、お陰さまで事業実績は
前年度に比べ十％前後の増加が見込
まれ、あらためて感謝を申し上げます。

さて、昨年十月の統計によりまし
と、豊中市の六十才以上人口は、七
万七千人を越え高齢化率は二十一％
に達し、いよいよ超高齢化社会が現
実のものとなってまいりました。

こうした状況からもうかがえます
ように、高齢者のライフプランが大
きな社会的課題となるとともに、仕
事を通じた高齢者の社会参加や生き
がいの充実を目指すシルバー人材セ
ンターの役割が今後ますます重要性
を増すものと実感いたしていること
ろであります。

このようなかでシルバー人材セン

昨今のわが国の経済状況は、景気
のゆるやかな改善が続いているもの
の、完全失業率が依然として高水準
にあるなど、まだまだ地域経済や市
民生活に与える不安は深刻な状況に
あります。

昨年豊中市は景観条例を施行し、
介護保険制度を本格実施するととも
に、豊島温プールや高川複合施設
をはじめ、「男女共同参画推進センタ
ーすてつぷ」をオープンしました。

また、子育て支援センターや柴原老
人デイサービスセンター、NPOな
どの活動を支援するための市民活動
情報サロンも今年開設を予定してお
ります。これも皆様方のご協力のお
陰と心から感謝いたします。

今年四月には「特例市」へ移行し、

ターの根拠法であります「高齢者
等の雇用の安定等に関する法律」が
改正され、昨年十月より施行されま
した。これは、シルバー人材センタ
ーの業務範囲を拡大し、弾力的な就
業形態が可能となる等センター事業
の強化拡充につながるものであり、
当センターとしても積極的に取り組
んでいきたいと考えております。

しかしながら、仕事を開拓しより
多くの会員に就業機会を提供するた
めには、役職員のみで対応しきれ
るものではありません。会員の皆様
がセンターの事業活動を積極的に担
つてこそはじめて可能となるもので
、それこそシルバー人材センターの基
本理念である「自主・自立・共働
・共助」の具体化に他なりません。

ご承知のとおり、本年は(株)豊中市
シルバー人材センターが設立されて

新しい総合計画もスタートいたしま
す。本市の財政環境は、依然として
危機的状況にあります。特例市へ
の移行を契機に、地方分権時代にふ
さわしい行政システムを確立しな
がら、保健・福祉・環境問題など多
くの課題に対処するため、引き続き
行政改革と財政再建に取り組みなけ
ればなりません。そのために、緊
急財政再建対策と行財政改革第一期
実施計画を実施してまいりましたが、
更に行政自らも徹しく内部努力を重
ね、簡素で効率的な行政をめざすと
ともに、施策の再構築を行ってまい
ります。

二十一世紀の幕開けの本年が、新
総合計画の基本理念であります「人
と地域を世界と未来につなぐまちづ

二十周年を迎える記念すべき年に当
たります。本年九月五日には会員の
手による設立二十周年記念式典を開
催しセンターが飛躍する機会として
まいりたいと思っております。

中国の古い書物である「書経」に
は「功の崇きはこれを志、業の広き
はこれ勤」とあります。つまり、立
派な仕事をするには目標が必要であ
り、大きな事業をなすには持続的な
努力が必要であるということです。

私は年頭にあたりこの二十年を振
り返りつつ、二十一世紀のセンタ
ー事業のさらなる発展のため皆様と役
職員が一体となって、ともに努力す
る年にしたいと考えております。

最後になりましたが、本年が皆様
にとりまして、よりよい年となりま
すようお願い申し上げます。私の新年の
ご挨拶といたします。

くり」の新たな飛躍の年となります
よう、全力を傾注してまいります。

高齢化社会を迎えた今日、シルバ
ー人材センターが就業を通して高
齢者の生きがいづくりや社会参加の促
進に努められ、本年で設立二十年を
迎えられることは誠に喜ばしい限り
です。

どうか、今年も一層のご支援とご
鞭撻をお願い申し上げますとともに、
新年がシルバー人材センター会員の
皆様方にとりまして素晴らしい年と
なりますようお願いいたします。

センターだより

二十一世紀の幕が上がりました。今年こそ、経済を再生し、元気な日本の復活の年にして行きたいものです。

新しい年はまた、シルバー人材センターにとって設立二十年という節目の年にあたります。二十年のお祝いは、会員の手による手づくりの記念式典を、今年の九月五日(水)に市民会館大ホールで開催し

ます。センターの新しい発展、飛躍の機会とするため、「理事会」、「設立二十周年記念事業委員会」が精力的に準備を進めています。

一方、平成十年度から取り組んできましたセンターの改革は、検証と調整の段階を迎えます。勿論、改革の取り組みは、休むこと無く継続して取り組んで行かなければなりません。組織にとって改革の有無は、組織の生死にも影響します。公益法人は、とかく変革には距離をおさがちになりかねません。社団の構成員である会員の皆さんの絶えざる関心こそが、組織に活力を生む力となります。会員の皆さんの積極的な関わりを期待しています。

昨年当センターの実績は、景気の低迷がなお続くなかではあります。が、「契約高」、「配分金額」、「就業人員」等で、毎月、前年を上回る成果をあげてきました。

センターでは、経理事務所による定期的なチェックとは別に、毎年上半年と年度終了後の決算段階で、法人監事による監査を受けています。昨年も、上半期の監査が、十月に実施されました。上半期の成果が通年ではどのよう伸びるか、数字以上にセンター会員の仕事の評価が問われているものと考えます。昨年、行いました中間監査結果の中から「監査報告書」、「貸借対照表」をご報告します。

平成12年(2000年)10月24日

社団法人 豊中市シルバー人材センター
理事長 水上 利夫 様

社団法人 豊中市シルバー人材センター

監 事 西 濱 温 夫 

監 事 村 田 嘉 康 

監 査 報 告 書

理事長より提出された、社団法人豊中市シルバー人材センターの平成12年度(2000年度)上半期(平成12年(2000年)4月1日から平成12年(2000年)9月30日まで)の業務ならびに収支計算及び財産状況について、会計諸帳簿ならびに関係証書書類等により、慎重に監査した結果、業務は適切に運営され、会計についても適正に処理されていることを確認した。

設立二十周年記念式典は

九月五日(水)市民会館
大ホールで開催決定!

一九八一年(昭和五十六年)にセンターが設立されて、今年で二十年を迎えます。平成十年から二十周年のための資金積立を始めるとともに、二十周年記念事業検討委員会(委員長、藤田恭道氏、委員六名)が発足。委員会は平成十年七月から検討を始め、平成十二年八月にスタートした設立二十周年記念事業委員会(委員長、水上利夫理事、委員二十四名)に引き継がれました。設立二十周年記念事業委員会は、「総務」、「式典」、「記念誌」の三部会が役割を分担し、本年九月の記念式典に向けて準備を進めています。また同委員会、法人理事会では、設立二十年の記念式典を九月五日(水)、市民会館大ホール(阪急曽根駅前)で開催することを決定しました。

なお、平成十二年度の通常総会は、例年どおりアクア文化ホールで、五月三十日(水)に開催します。平成十三年度の総会では、平成十一年度事業報告、決算、平成十二年事業方針、予算等に加え、昨年改正された「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」を受けて、センター事業の拡充を図る定款改正を予定しています。

二十周年記念式典、「通常総会」をいまから予定にいらして下さい。式典、総会が二十一世紀のスタートの年にふさわしく、またセンター飛躍の契機として位置づけて行きたいと考えています。

貸借対照表

平成12年9月30日

(単位：円)

勘定科目名	前月末残高	当月借方	当月貸方	当月末残高
I 資産の部				
1 流動資産				
小口現金	72,983	80,360	61,358	91,985
池田銀行豊中支店	10,102,637	325,939,175	282,814,043	53,227,769
池田銀行豊中支店 (SP)	0	3,630,279	0	3,630,279
池田銀行豊中支店 (緊急)	0	1,620,260	46	1,620,214
三和銀行豊中支店	212,633	3,754,820	3,304,502	662,951
定期預金	0	15,000,000	15,000,000	0
未収配分金	35,557,664	203,793,197	188,318,135	51,032,726
未収材料費等	6,313,083	10,862,234	13,742,719	3,432,598
未収事務費	1,835,242	12,393,499	10,762,701	3,466,040
未収金	1,237,000	2,226,900	3,263,800	200,100
仮払金	402	1,326,511	1,325,488	1,425
立替金	0	181,984	181,984	0
流動資産合計	55,331,644	580,809,219	518,774,776	117,366,087
2 その他の固定資産				
車両運搬具	1,264,462	0	0	1,264,462
電話加入権	563,952	0	0	563,952
退職給与引当預金	6,840,641	10,237,576	9,840,641	7,237,576
財政運営資金積立預金	19,827,000	0	7,000,000	12,827,000
その他の固定資産合計	28,496,055	10,237,576	16,840,641	21,892,990
資産合計	83,827,699	591,046,795	535,615,417	139,259,077
II 負債の部				
1 流動負債				
未払配分金	34,611,552	202,411,108	203,856,592	36,057,036
未払材料費	1,390,335	4,504,096	3,816,276	702,515
未払金	3,035,953	10,412,067	9,006,769	1,630,655
前受金	1,423,082	2,401,871	5,122,541	4,143,752
預り金	469,120	6,096,801	6,349,358	721,677
仮受金	0	1,104,277	2,187,340	1,083,063
流動負債合計	40,930,042	226,930,220	230,338,876	44,338,698
2 固定負債				
退職手当引当金	6,840,641	0	397,428	7,238,069
固定負債合計	6,840,641	0	397,428	7,238,069
負債合計	47,770,683	226,930,220	230,736,304	51,576,767
III 正味財産の部				
正味財産	36,057,016	364,116,575	304,879,113	87,682,310
(うち当期正味財産増加額)	0	△273,898,859	325,187,193	51,625,294
負債及び正味財産合計	83,827,699	591,046,795	535,615,417	139,259,077

賛助会コーナー

謹賀新年

株式会社 イーパック (白出町)
 正光山・浄行寺(走井)
 株加 納 (中桜塚)
 岸岡企業 (庄内西町)
 名鉄観光サービス (株)
 梅田支店 (大阪市北区)
 仏光山・如来寺(箕輪)
 株オカキン (原田中)
 株大川歯車製作所
 (庄内宝町)
 大阪理研工業 (株) (神州町)
 三栄源エフ・エフ・アイ (株)
 (三和町)
 三和ビル (株)
 (庄内東町)
 庄内神社 (庄内幸町)
 株太鼓亭 (箕面市稲)
 株高尾鉄工所 (島江町)
 東栄精機 (株)
 (浜)
 株内田スプリング製作所
 (千成町)
 株渡辺製作所 (名神口)
 矢部文雄 (上野東)
 やまかつ (株) (大阪市北区)
 株湯山製作所 (名神口)
 順不同

会員の ひろば



ひとり暮らしが校区

給食サービスを頂く幸せ



第四班
徳永 美恵子

私は独居老人の生活をしている七十二才。豊中市社協から給食を頂いている。市では現在利用者は年間延べ約三三、〇〇〇人。それに関わる給食ボランティアの方達も、年間延べ約六、七〇〇人。年々広がっている。給食サービスのシステムは、一カ所に集まって食事をする云々食型と自宅へ食事を届ける「配食型」の二つがあり、現在三十四校区福祉委員会の皆さんが、お世話をして下さること。前以って予約をお願いして代金は、驚く程の少額。幕の内風のお弁当はとても美味しい。年に三、四回配達される日は、嬉しくて朝から待ち遠しい。そのお弁当の中には何時も福祉委員からのご挨拶状と、可愛い小学生のお手紙が入っている。私には何時も男の子のお手紙で便箋の様子は、今風に熊さん私は何度も読み返してもう暗記出

来る。一寸ご披露をすると「おじいさんおばあさん。お元気でですか？病気はしていませんか？僕のおばあちゃんは一月にこけて骨をおつて入院しました。コルセットを作ってもらい、それをつけて一生けんめいに、リハビリをしました。三月で杖を持つて歩けるようになりました。もうすぐ退院です。おじいさん、おばあさんも、一生けんめい歩いて元気でいて下さいね。ぼくはもう直ぐ六年生です。おじいさん、おばあさんをみならつて一生けんめいに、勉強をしようと思います。おげんきでさようなら。」と鉛筆できちんと書いてあり、漢字の所は、何度も書き直してある。私は顔も知らない生徒さんだけど、私なりに想像していると夢は広がる。久し振りの小春日和に私はボツ／＼と歩き乍ら地域の小学校を訪ねた。初めて校内に入り職員室のドアを開けた。校長先生が入口にいらつしゃつたので私は、早速、生徒さんから頂いたお手紙の返事をお届けに伺つた旨、ご挨拶をすると「それは、有難うございます。本人も喜ぶ事でしょう。何か福祉に協力出来たらと思ひ、先生方も話しましたら、早速子供達からも積極的に申し出て呉れて嬉しい事です。時々学校にお礼の電話も有るようで、知らないお年寄から、僕達にもお礼を言われたよ。」と子供達の喜ぶ声が最近増えて来ましたなあ。わざ／＼来て頂いて恐縮でした。気をつけてお帰り下さい。」と、ドア迄送つて下さった。校庭に出ると、下級生らしい男子と女子がドッチボールの試合のようだ。木のベンチに腰を降ろし

見えない施設での介護



第一班
山本 ちず子

特別養護老人ホーム実習にて：グリーンヒルは環境のよいみどり園に囲まれた山の中に建てられて、一般の方は余り知らない。私自身も二級を習得する迄全く知りませんでした。二級に引き続き二級も実習させていただき、安心感がありました。

車椅子がうまく流れてゆく、こんにちわ、と声がけると、お礼の言葉がカえってくる。忙しくテキパキ動く養田さんの姿、寝たきりのおむつ交換と更衣シーツの実習、養田さんから「やつて見る！」「ハイやらせて下さい」と云つたもののがまくゆかない。便があちこちに着き養田さんの手を借り助け

ていただきました。Bさんと声かけしてもなんの反応も見せてくれない。まるで赤ちゃんが眠っているよう。経験を積んで人生を立派に生きてこられたらうに病気が人を変えてしまったのかと思つと：涙があふれる。養田さん「始めて対面したら、気の毒に思つてシヨックを受けるのよ」と、なぐさめの言葉をもらつた。汚れ物が次々と機械のように動く養田さんの仕事ぶり。着替、陰部の清拭、時間との戦いとが、誰でもできない特別施設での余りにも多くの仕事をかかえ頭のさがる思いで一日間の実習を何事もなく終えました。いっぱいかかれた介護を見て感動しました。介護される側とする側が一对となつていた学んだ事を役立ててゆきます。有難度うございました。

二十一世紀に夢を託す

―豊中市シルバー人材センター―
創立二十周年を迎えて―



第十二班
岡本 宗五男

シルバー人材センターは二十年前に「就業開拓促進団体」を母体として発足して以来、今や会員数は一、四〇〇名を凌駕するほどのセンターとなつて、広く一般にその真価が認められるようになっております。

近年、当センターは逸早く在宅・家事サービス・介護サービスの必要性を痛感し、その要員の育成・確保

に努めてこられてきた事は誠に先見の明あったと云えるのではないでしょう。

これは偏に担当役職員の弛まぬ時流の把握と日本の高齢者社会を見据えた優れた卓見のなせる業であると敬意を表わすとともに、厳しい財政事情の最中にあっても弱者である高齢者の視点を忘れぬ市当局のご配慮あつてこそ、シルバー・センター事業も軌道に乗つて来たものと感謝いたしております。

さて、豊中市は「文化都市豊中」「ローズ・タウン豊中」として、内外に認められており、また自然環境にも恵まれているところであります。昨今のように急激な高齢化が進んでまいりますと、単に、高齢者向けの福祉施設の充実のみならず、勤労意欲を充足せしめながら若い人達とも調和を失う事なく、豊かな高齢者社会をつくりあげて行く事が大切となつてきているのではないかと思ひます。

そんなことを考えておりましたら、現在のシルバーセンターの建物は借り物であつて、いつ何時、その活動基盤を失うかもしれないことなど仄聞するにつけ、心細く思われて来る今日この頃です。

そこで、二十一世紀は「シルバー人材センター」にとつては更なる次の二十年の始めでもあるので、「夢」を膨らませても赦されるのではないかと思ひ筆をとつた次第です。

「夢」の第一はまず「シルバー総合センター」が造られて、豊中市シルバー人材センターの独自事業が展開できるように、各種訓練施設もつ

くられる。

「家事サービス・介護サービスの実習の出来る研修室、各種訓練施設」
「木工作業所、家事・料理・炊事研修室、裁縫・染色作業所、華道・茶道実習室、ワープロ・パソコン研修・実習室など。

また、高齢者が明日への勤労意欲を養うための施設が考えられている。
「スイミング・プール、ジム、温泉・サウナ、テニス・コート、ゲートボール・コート、オーティオ・ルーム、ビリヤード、ゲーム・ルーム」
「麻雀、囲碁、将棋・カードなど」
くつろぎのバー・ラウンジなど。
それに葉がりの出来る庭園と共に、ローズ・タウンに相応しく「バラ園」が敷地一面に広がつている。

働く人のためだから娯楽施設など不要だという考え方はもう通らないのでは。

これからは、日本全国いや世界の至るところのシルバーの人達と交流が盛んになつていくでしょうが、そんな時に高齢者を念頭においた宿泊設備があつて欲しいものだ。
運用はどこかのホテル・チェーンに任せては。

そんなものをどこに建てるの？
いいところが、あるではありませんか。
豊中市市民病院の跡地はうつつけではありませんか。

「追記」
そのような施設を造る資金はどうするの？
「高齢者施設建設費」とか「シルバー総合センター建設基金」とでも

路打つて市民から集めては。どうでしょう。

豊中市の財政赤字をどう克服するか。

① 歳出を減らす。一いつが易く行ふは難し。というところ。

② 税金を増やす。一市民が納得しないでしょう。

では、どうすれば、いいのでしょうか。

一筋縄ではいきませんが、いささか、長期戦でやつてみてはどうでしょうか。

基本的な考え方は企業が豊中市に進出してきたい様に仕向ける事でしょう。

そのために、いくつかのインセンティブを用意する。

① 所得税・事業税の軽減。

② 物品税・消費税を0とする。

③ 固定資産税・相続税・譲与税を低くする。

上記に付いての具体案については、別途専門家により、鋭意検討されればよいと思いますが、物品税・消費税をなくす事によつて、相当な税収減が見込まれるが、消費の活性化・景況の上昇により、所得税・事業税の大幅な増収が得られるように、取り回らう事が必要である。これは、サンフランシスコ市で既に実証済みの方策である。

④の諸減税は事業活動を活性化させるのみならず、新旧交代・ベンチャー・ビジネスの創業を促進するものと考えられる。

次は、伊丹空港及び周辺地区を「自由貿易地域」にする。東南アジア向きの国際空港として復活させ。豊中

市に空港があるという立地条件を有効に活用すべきである。騒音補償問題に付いては前職を踏まめよう配慮が肝要。 以上
戯言で終わらない手立てではないものでしょうか。

ホームヘルパー



第十五班
林 信子

「私たちホームヘルパーは常に社会福祉に携わる者としての誇りを持つて仕事にあたります。

私たちホームヘルパーは常に愛情と熱意をもつて対象者の自立を助け、その家庭の維持と発展を援助します。

私たちホームヘルパーは対象者の尊厳を守り常に対象者の立場に立ちながら仕事にあたり対象者や地域住民から信頼されるホームヘルパーになります。

私たちホームヘルパーは常に服装や言語に気を付け笑顔を忘れず仕事上で知り得た他人の秘密は口外しないことを約束します。

私たちホームヘルパーは常に研鑽に努め在宅福祉の第一線にある者として自らの資質向上に努めます。」

複雑な人間生活にかかわりを持つホームヘルパーはその技術、知識と共に職業倫理や判断力が求められます。ホームヘルパーは利用者と共に

共に職業倫理や判断力が求められます。ホームヘルパーは利用者と共に

「善いことを選ぶ」専門職として期待されているのです。

保健・医療・福祉に従事する人は直接、人の「不安・悩み・悲しみ・痛み」に接し慰め・癒し・助け・対象者一人ひとりのかけがえのない1回限りの人生を充実したものと成るよう援助する」という重大な役割もつています。

それだけ大きな誇りをもつてよいのです。社会からも大きな期待と尊敬が寄せられています。だからこそ、保健・医療・福祉に従事する人には人格的、倫理的責任が大きいといえるでしょう。

利用者の利益第一。秘密厳守。人格尊重。すべての人々が住み慣れた地域において安心して老いることが出来そして暮し続けていく福祉の原理であるノーマライゼーションの実現をめざしているのです。

利用者本位。自立支援。専門的サービス提供。プライバシーの保護等のほか、チームケアの実現に大きな特徴があります。

人間はすべての人が完全無欠の存在ではありません。生活の援助者で

あるホームヘルパーの価値観とは全く違う価値観をもつ利用者もいます。しかし一人ひとりの人生には、それぞれ生きてきた理由や背景もあるのです。その人の生活の営み方、生き方を理解しようとするヘルパーの態度や姿勢が大切なのです。形だけの介護や家事援助が出来たとしても心の通わない無機質なサービスにとどまることではいけません。

良いサービス援助者は利用者との人間関係によるところが大きいと思われまます。

ホームヘルパーの人間としての豊かさ、やわらかさ、やさしさはサービスを求める人には大きな安らぎを提供します。経験を積むことによつて達せられませんが自分自身を振り返り反省し柔軟かつ臨機応変に事態に対応していく姿勢がなければ単に経験年数だけを増やしても成長は望めないでしょう。経験豊富なホームヘルパーがおりやすい状態としてルーチンワークにはまるといえるものがあります。たしかに、きめられた手順どおりに決められたことを日々こなして行けばそれなりに無難に業

務をこなすことが出来ます。ルーチンワークにはまると利用者の小さな生活の変化を見落したり利用者のホームヘルパーに対する反応を見落としたりすることになりがちです。ホームヘルパー自身の成長も援助の質の向上も止まってしまうかも知れません。ホームヘルパーという仕事以外のことに興味をもち茶道、華道、テニス、海外旅行もよい体験です。

さまざまな体験を積み広い視野をもつことが大切。人間としてのふところの深さや、ゆとりとなり必ずホームヘルプサービスに生きてきます。人間としての総合的な成長が利用者により深く理解する事につながり受け入れることが出来るようになり結果として強い人間関係を結ぶことができるようになるのです。心に余裕を持つて頑張りたい。

信州蓼科一泊バスツアー (11月20日～21日)

諏訪大社・白樺湖を訪ねて

十一月二十日(月)生憎のうす曇り。七時四十分には早や、点呼が行なわれた。参加者一号車二十四名、二号車二十七名、計七十一名。

七時五十分。出発が少し遅れているなと思つていたところ、後部タイヤに異常あり、交換をするとの添乗員の阿多口さんの報告で、清風荘のバス・ターミナルまで移動し、バスを乗り換え、八時十五分豊中ーC

を動かすときの痛みがあるかないか。関節の動きは固くないか。脱水症状、わきの下や口腔の乾燥状態、ぐつたりしていないか。

自立とは自分の行動をみずからの意思で行うことを意味します。

自立とワオリティー・オプライフ(QOL)がすべての人びとの望むところであるとすればホームヘルプサービスもこのことを目標に行われるべきだと言えます。「自立のためのホームヘルプサービス」と呼びたいと思います。日常の行動に介助を必要とすることになったとしても「自立の本質」を忘れずに相手の主体性やその人らしさや自由を尊重した介助を心がける必要がある。

QOL(生活の質)向上さするため身体的に苦痛がなく、精神的には満足感や充足感、あるいは生きるはりがあり、社会的には周囲の人々と円満な関係にある状態ホームヘルプサービスを進めて行くとき、この自立とQOL向上させるようサービス提供すべきです。

このサービスがこの人のQOLの向上に役立つのである。

に向かう。

途中、多賀SAにて休憩。雨が次第に激しくなってきた。側道は竜王付近から除雪・凍結防止のスプリンクラー敷設工事のため、片側車線走行となつた。特に下り車線の渋滞は激しく、帰りが思いやられた。

伊吹山脈と養老山系の谷合を抜ける。辺りはもやが、霧が立ち込め、まさに墨絵の世界である。



霧深くうす墨色に山脈浮ぶ

平ノ上砂子
雨脚が益々激しくなつて来て、相合傘の似合う情景とはなりません。神坂トンネルを通つてすぐ、恵那山トンネル(八咫)に入った。網掛けトンネル、そして信玄最後の地と云われる「コンバンバ」をへ



て、十二時十六分飯田市着。見慣れたりんごの木々の街路樹、カリンの並み。
雨けぶるアップルライン旅の窓

松田 定子
一時三十分上諏訪神社着。大団様の第一子、建雷の神を祀ると云われる。

三時二十五分市内観光しながら「蓼科ブランド・ホテル」へ。到着した時点で集合写真。
夕食前に露天風呂へ。「信玄の秘湯」と言っただけあって、雨の飛沫も掛かる野趣あふるるいい温泉だった。白樺の霧間に沈む信玄湯
須藤みさを
夕食は「瑞鳳」の間にて六時二十



平ノ上砂子

霧にかすむ白樺湖を左に見て、「蓼科ピーナス・ライン」と言われる山岳道路を走る。白樺湖に到着。

分から、弘岡理事の開会挨拶・司会により、徳永理事の挨拶・岡本の乾杯の首頭で宴会が始められた。
食事はまことに豪華なもので、食べても食べてもまだ何かあると言った具合で品数の多いのに感心した。飲み物も事務局のご配慮からか、追加を大してすることもなく、融通しあつて楽しくいただいた。
カラオケの音楽にのつて得意のダンスを披露する人、ご夫婦かとおもふほど仲睦まじいシルバー・ベア・しめくりは、吹田市シルバー人材センター提供の替え歌であった。音頭とりのため、舞台に出てきた面々につられて、会場全体の大合唱となった。中締めは野口長老にして頂いて一応のお開き。その後も、隠し芸の踊りや歌が続きなかつた。
翌日、八時二十分出発。チエック・アウトで手間取つた人もいて最後になつた人達は少し離れた駐車場まで歩くことになった。
霧にかすむ白樺湖を左に見て、「蓼科ピーナス・ライン」と言われる山岳道路を走る。白樺湖に到着。



白樺湖は人造湖。音無し川を塞ぎ止めて出来た。湖畔に「池の平高原ホテル」あり。

標高水田(一、〇〇〇メートル)又、高冷地水田を見ながら霧が峰に向かう。高原の米所とも云う由。九時三十分発。車山(アスピー系)又は「霧が峰」という。
落葉松の黄葉を透かす霧模

須藤みさを
赤いナナカマド完熟状態。霧雲吸いて燃えたつ七竈

須藤みさを
高層湿原地帯が広がる由。十時三十分噴出予定。諏訪間歌泉センター見学。

間歌泉時雨の雲につつかかる
須藤みさを

野沢菜工場見学。野沢菜ワサビ漬けが美味しそつであつた。買い損ねた。「たまり漬け」がいらいしい。峠の釜めし「しのだや」にて昼食。十三時三十分一泊、豊中に向かつて、出発。

心配した極度な渋滞もなく、十八時三十分には無事、帰着。
(岡本宗五男)

同好会だより

ハイキング同好会

矢田丘陵から松尾寺

第十二班 山路 政市

十一月十一日。天候は晴。

参加者二十四名です。矢田寺の西方に大和民俗公園・県立民俗博物館や少年自然の家などがあり、重文指定の旧日井家住宅などの古い移築民家が十棟ほど並んでいる。これを全部見て廻ると一時間三十分を要するので、今回は時間の都合で次回にゆづることにする。

矢田寺はアジサイ寺で有名である。矢田丘陵は生駒山系の東、奈良盆地北部とのあいだに横たわる丘陵地帯である。古くより歌に詠まれた竜田川が南流し、丘陵南端は法隆寺の斑鳩の里に続いている。近鉄郡山駅からの出発となる。

郡山からバスに乗り二十分で横山口バス停で下りる。途中に熊沢蕃山の遺跡があるが、あのそれらしいものはなにもない。ここからはバス道を矢田寺山門に向う。矢田寺は正しくは金剛山寺といい、境内には多くの石仏が残っているほか、春は桜からツツジ、アジサイと続く花の季節に参拝者も多い。遠く大和盆地のみなたには大仏殿も見える。

矢田寺は現在増築中である。寺

の前の道を左にとるとすぐに山道となり、林の中に石仏が立ち並ぶ道を少し行くと黄色の菱形看板がある。



ここを左にとつて細い山道に入る。七分ほどは急な坂道が続くが迷うことはない。やがて分岐点にさしかかる。「たき火・たばこ注意」の看板の立つ道を行く。

奈良市内の方まで見晴らしのきく絶好の休憩所がある。一息いったあと林のなかの下り坂を行くと池沿いとなり、やがて広い道と合流する。一〇〇mほどで乙田方面の分岐点となる。この辺りは稜線を行くゆつたりとした散策道で乙田分岐から15分で矢田寺からの別道と合流する。この道標からさらに五分で眺望のすばらしい展望所がある。そこから五分下ると湿原分岐の道標がある。それから一〇〇mで松尾山頂がある。林の中をしばらく行くと道は別れるが、

右の坂道を登ると五分で平坦な場所に出る。頂上の三角点と裏手にはNHKの電波塔がすぐ横にある。ここで昼食にする。家族的な団樂にどの顔を見ても笑顔で一ぱいである。ここから十五分で松尾寺の境内である。本尊の千手観音は厄除け観音として有名である。境内下の駐車場を左に行くと五十分で法隆寺にでる。

JR法隆寺から帰路につく。

T・シルバートラベル同好会

第一班 山田 英明

旅、旅行、トラベル、ツアー、辞書を開くと、家を離れて他所に行く事、と書いてある。意味はどうであれ見知らぬ地に旅をすると言う事は日頃の身心の疲れを癒すのに一番手つとり早い方法であると思う。旅行は一人で行くもよし、二人で行くもよし、ペアで行けば最良である。複数で行つて騒がたい、と人それぞれに楽しみ方があ

る。又旅行の方法として廉価で遠くへ、少々高価でも観光地もさることながら豪華な調度品の備わった広いお部屋でゆつくりと山海の珍味に舌鼓を打ちたい。旅行会社が企画しているツアーとは一寸と高価でもツアーで行く旅行よりも違った意味で楽しみたいと言う事を原点として、T・シルバートラベル会 発会以来白帰りの旅行に、一泊旅行にとその都度役員会を開い



て先ず会費、観光地、そして日時にと種々検討して、一人でも多くの会員様の参加をいただけるよう努力をし、少々金額は高んでも参加していただいた会員さんによかつたと思つていただき、又次の旅行に期待を持って下さるよう日夜気を配つて居る。当会は旅行だけではなく、なにしろ年長者の集りであるが故に何時、誰に故障が生じるか分からないので他に誕生会、納涼会、忘年会と一度でも多くの会員様同志がふれあう事の出来る機会を持つてるように心掛けて居る。昔から旅は道づれ世は情け、旅行はしたいけれど、体の一部に故障があるので参加したら他者に迷惑を掛けるからと旅行参加に躊躇なさつて居る方があ

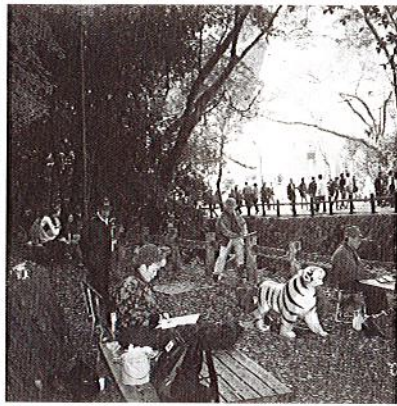
るかも知れないが、ご安心下され、当会の旅行には損害保険の加入は勿論の事、必要に応じては看護の添乗もしている。

終りに残り少ない人生はお互い様である。相互扶助の精神で楽しい旅をしたいものである。

美術サークル同好会

スケッチを楽しむ

第一班 山階 康雄



季節毎に移り変わる自然の風景私達美術サークル少数であります。がそれなりに満喫しようと紅葉を求めて箕面迄一日スケッチに出掛ける。天候に恵まれたうえ、祝日と重なり人出の多いこと。スケッチ場所を求めて散策するうち最適と思われる場所に早々に他グループが来てる同じ趣味同志「どちらから、どこのグループ都島区から遠いところから」作品を見せて頂き意気投合。大自然の美しさをスケッチ我がものにする。作品の出来上がりは別としてそれなりに保存出来る。人生のひとつまとして最高の悦びと思う。たまたま隣りにドイツ人の観光客数人程居合わせ言葉は通じないがお菓子のやりとり写真を撮る。別れの際握手し手を胸に当てドイツ式の挨拶をされ、思わぬ所

でひとときの出会い。我々も後片付けをし滝迄のぼり帰途につく。紅葉の美しさコバルト色の水の流れ、澄みきつた空、おだやかな日和を充分に満喫出来たお陰で、お互い疲れを感じてない様だ。これからもせいぜいスケッチブックを片手に自然のうつり変りと人との出合を大切に絵をたのしみたいと思う。

書道同好会

第十五班 多度津亮介

パソコンの普及により若者の書きの習慣が減少し書道は年配者のみの趣味に終つてしまふのかと懸念したのだが、Tの普及は逆に「ひらがなで済ませていた字も漢字にしたい欲がでる」現象を生みだし書道文化を老若共に護持していく兆しが見えてきたのは喜ばしいの一語につきる。

友形手
字氏民

小西みよ子

第三班 小西みよ子

観光遊
覧旅館

千代子書

第四班 片山千代子

存心 甘棠を
巻流 楽舞を
下睦 夫唱婦隨

第十一班 谷口豊次郎

憲法
会代表

前田 未弘

第十六班 前田 未弘

囲碁同好会

第三班 梶浦 武彦

輝かしき二十一世紀を迎え、シルバーセンター会員の皆様にお喜び申し上げます。

例年通り新春囲碁大会を二月一日に開催を予定しておりますので、会員の皆様の奮つての御参加をお待ち致しております。尚詳細につきましては、追つて会員の皆様にお知らせ致します。この機会に日頃の研鑽の腕前をご披露願います。囲碁は奥深いゲームで究めれば究める程興味深く、新しい知已を作る事が出来、ボケ防止にもなる。一石二鳥の効能を持つており、高齢になつても一生楽しめれます。初心者の方も歓迎致します。毎週金曜日の午後センターの一室をお借りして例会を行つておりますので御参加をお待ち致します。

編集のしおり

輝かしい新年、会員の皆様にはお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は一〇〇〇年単位のミレニアム二〇〇一年、一〇〇〇年単位の、二十一世紀。そして十年単位では二十一年目の当シルバー人材センター、それぞれ初年にあたる記憶に残る年です。一〇〇〇年前は勿論、一〇〇年前でも、人類が空を飛ぶなど思いもよらない事でした。空への憧れから、身体に翼を付け崖から飛び降りたり、多くの鳥を身体に結び付け一斉に飛ばせ大空を旅行しようと、試行錯誤を重ねました。さて現在は如何でしょうか。ご存知のように、数百人の乗客が雲よりも高く、鳥よりも早く、数十トンの大型飛行機で旅をする時代です。ロマンの対象としての月も人智の発達、科学の進歩の前には、人間の生活の範囲に組み込まれてしまいました。今秋には設立二十周年を祝う当センターの底力は、会員の皆様の積極的な気力、豊富な経験そして何処よりも勤勉な仕事ぶり、これからの少子高齢化の今、発揮されるべきです。理事の方々が努力され、センター職員が地道な活躍が、職種を上げ、同時に仕事量も益々増えるものと確信しております。

尚表紙写真は、藤田泰通さん、題字は、日高 技さん、イラストは、山階康雄さんです。

想いのたけをふみに託して…

俳句

第二班 平ノ上砂子

秋灯や 言争そし 夫恋し

願い事 途中で消えし 流れ星

霧晴れて 黒き熔岩現れ 霧ヶ峰

第十班 朝倉 幸子

秋色の 一期一会の 海の面

森閑と 不味の領地 木の実落つ

(千鳥城外の杜にて)

旅立や 秋冷の庭 雲の峰

祭待つ 白き障子に すだれ柿

第二班 須藤 操

(四国八十八ヶ所順拝の旅)

雲辺の 五百羅漢は 雪に座す

鐘楼へ 並ぶ笈摺 涅槃西風

戒壇の 闇を抜ければ 花の雲

野天湯へ 続く白樺 霧化粧

霧の夜の 温泉壺に沈む 太肉

湯はてりの 喉に旨しや 冬の水

第四班 村井實代子

運動会 孫が一番 ビデオ撮る

さんま焼く 同じにおいの 両隣り

秋風に バタバタバタと 窓をうつ

秋夜長 コーヒー沸して 一人のむ

秋の日は 涌べ落しに 身もせける

短歌

第十班 朝倉 幸子

幼日の 雪降る朝の 歓喜こそ

赤き長靴 エビ茶のマント

落椿 女の残り火 映してか

夜来の雨に 更に鮮やかに



運転班は裏方さんで大忙がし

第四班 徳永美恵子

新春一〇〇一年「ふれあい帽子」の新年号は、運転班の皆さんに取材をお願いした。先ず運転班のお仕事の内容は、園芸班、除草班の裏方で、常にチームワークを大切に活躍する九名の会員さんは、実に頼もしい。早速、作業に使用する機材の説明からお聞きする。最初にパッカー車、ゴミ処理の作業で一台にドライバーと助手が乗り、現場の残探をクリンランドへ降ろす。ダンプ車は同じ一台にドライバー、作業にかゝる。軽トラは一台にドライバー一人。就業時間はセンター前を八時半に出発三時半に作業完了。休憩は、センターに戻り、十二時から四十五分。若し作業日に雨が降ればNHKの天気予報で、六%以上の降雨になった時は、中止になる。次に作業時のビーク



私は“ふれあい”帽子

は、十月から十一月。時には年末迄多忙との事。作業は毎日だがローテーションを組んで、実際の稼働日数は月に十日位。作業の内容は、園芸班と除草班の機材を、当日分の用意、翌日分の準備をする。当日分の場合は回収後にセンター迄、持ち帰る。翌日分の準備で苦労する点は、持ち込んだ機材を一日保管する場所が簡単に決まらない時だ。団地などの作業は、広い場所が有るのでホツと一安心。次の取材では私も大変。作業に必要な道具が多い事に驚いた。三脚、スライド梯子、電気バリカン、

チェンソー、草刈り機、ガソリン、シート、竹・防御板、ホウキ、サラエ、鉄サラエ、ビニール袋、ビニール紐、六十キロ近くの重さがある発電機は冬でも汗が出るとか。それより一番の悩みは交通渋滞だ。作業日報用紙には前以って所在地を地図から確認して、用紙に記入されたナンバーを見て大至急で、方向を変える。その時ペテララの班長さんは、今が腕の見せどころ。傍に居る新米さんは、そんな先輩を見て自分も早く安全に選べるコースを覚えて役に立つ助手になりたいと真剣なお話だった。何事にもチャレンジの姿が自立への近道と思う。最後に皆さんの声「就業の安全、車の安全、積み込みの確認。確実に早く無事故の作業を心掛けて居ます」力強い言葉に私は此処でも取材のおかげで勉強をさせて頂いた。以前に国道のバス停の前を「豊中市シルバー人材センター」と書いたパッカー車が、一瞬目に入った。私が思わず手を振ると、車中の助手席から白い手袋の手を、思いきり、振つて合図をして頂いた。初めて見たパッカー車を、とても身近に感じた。

